広報あきた

明けまして
おめでとうございます！

2007秋田わか杉国体まで
あと271日

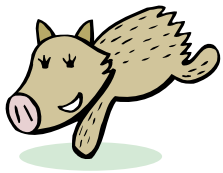
2007　平成19年
1月1日号　NO.1640　毎月1日・16日発行
編集発行●秋田市広報課

◆新春 市長ほっとコラム

特集◆感動の記憶 そしてエール

胸に金の「なまはげ」が輝く国体ユニフォームも完成！ さあ、大会本番に向け秒読み開始！！
(八橋球技場で、秋田観光レディの高橋実里さんと秋田ノーザンブレッツの安藤大樹さん)

秋田わか杉国体のボランティアのみなさんと(左から福田庄悟さん、福田加代子さん、右から三澤麻未さん、山本英理夏さん、小向とも美さん)



産業経済の強化を前面に 家族・地域の絆(きずな)で、しあわせ実感

新春ほっとコラム

秋田市長　佐竹　敬久

新年おめでとうございます。二〇〇七年、平成十九年亥年のお正月をいかがお過ごしでしょうか。

おせち料理を囲んでの家族との団らん、地域におけるさまざまな伝統行事、久しぶりに帰省する仲間との再会や遠くに暮らす友人からの年賀状など、お正月は、あわただしい毎日のなかで忘れられがちな、人と人とのつながりを思い出させてくれる機会でもあります。

新しい視点で新総合計画を策定中

秋田市は現在、今年四月のスタートに向け、第十一次秋田市総合計画の策定に取り組んでいます。この総合計画では、めざす将来都市像を「しあわせ実感　緑の健康文化都市」と定め、市民がしあわせを実現できる環境を整えることを市政の最上位の目標に位置づけています。

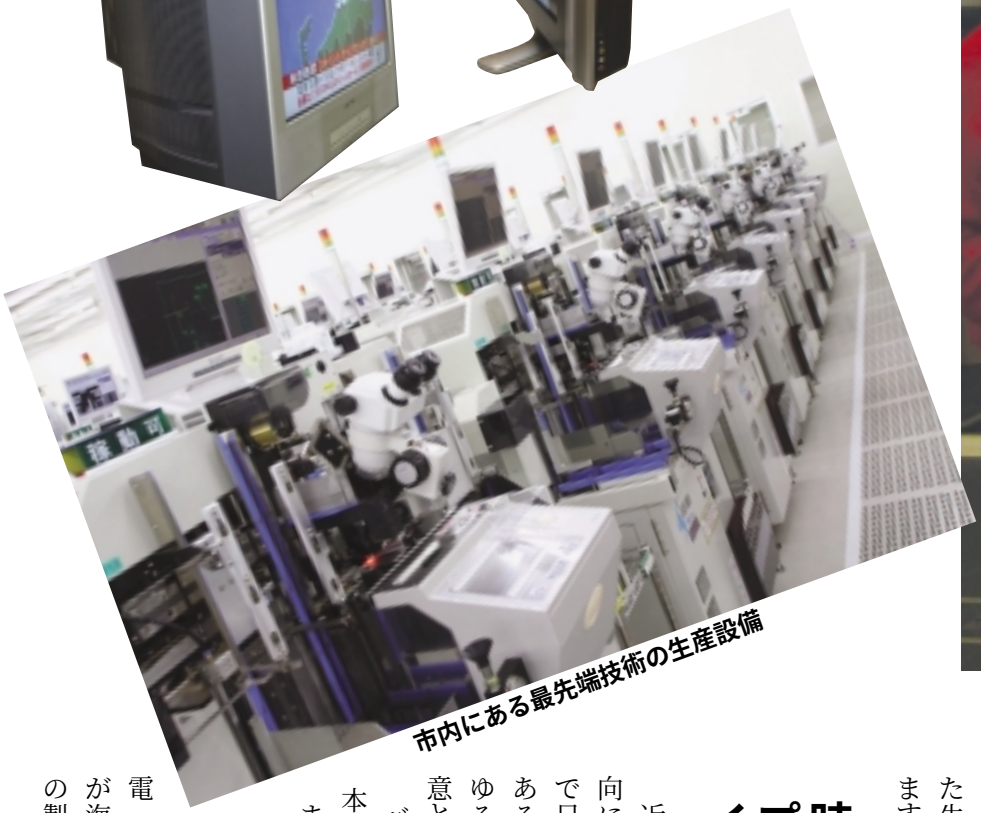
市民のしあわせを実現するには何が必要でしょうか。そして、どんなまちであることが求められるのでしょうか。

そこで、今回の計画では、大きく二つの点にポイントを絞りました。

企業の新規投資の動きが強まっています

一つは産業経済を前面に押し出していることです。

プロダクト・イノベーションで
ごついテレビが薄型液晶に！



市内にある最先端技術の生産設備

これまでバブル崩壊後の長期不況の時には、企業は現状を守る、あるいはスリム化により企業存続をはかることを経営の中心に据えていましたが、最近は市内に事業所を置く企業の中にも久々の大型設備投資や新規雇用の動きが見え始めています。また、首都圏に行っていろいろな会社を訪問すると、地方進出の話もたびたび耳にするようになり、一部の先端技術産業などでは、海外に設けた生産拠点の国内回帰の動きもあります。

時代はいよいよプロダクト・イノベーションへ

近年の産業、特に製造業分野の動向について少しお話すると、これまで日本企業は、生産性や品質の向上、あるいは製品の高機能化など、いわゆるプロセス・イノベーションを得意としてきました。

バブル崩壊後、約十年を経て、日本経済はようやく立ち直りつつあります。しかし、「世界の工場」とも言われる中国など新興国の台頭に伴い、安価な労働力を求める量産型の服飾分野や普及型の家電・電子機器などは、その生産拠点が海外に移りました。これは、既存の製品群のプロセス・イノベーションで世界と渡り合うことが、もはや限界にきていることの表れであると言えます。

このような中で、我が国の超先端技術分野における研究開発の成果はしだいに実用化の域が広がりつつあり、例えばデジタル家電やロボット、燃料電池などでは海外の追随を許さないものが出現してきています。

いよいよ、既存製品ではさらなるプロセス・イノベーションを、そしてこれにプロダクト・イノベーションによる新製品が加わる時代を迎え、日本が再び欧米先進諸国をリードする時代に入ってきたという声も聞かれます（分かりやすい例では、ブラウン管テレビは平面型にしても大型にしても、ブラウン管方式である限り、その進歩はプロセス・イノベーションの範疇（はんちゅう）であり、それとはまったく原理の異なる液晶やプラズマ方式のテレビの開発はプロダクト・イノベーションということができます）。

こうした新しい産業社会の動向を見据え、この第十一次秋田市総合計画には、本市の実現すべき都市像の一つとして、産業経済分野の強化を位置づけました。地方分権が進み、秋田市が自立していくためには市民の所得を生み出し、本市財政の根幹となる産業経済の活性化が不可欠であり、さまざまな施策を積極的に進めていきたいと考えています。

今、取り組まなければならないことは、「家族や地域」を拠り所に

人と人との絆を大切にしていきたい

また二つ目のポイントは、家族や地域の絆というものを拠り所にして、喜びややすらぎ、安全・安心のある生活基盤をつくりたいということです。

人は、家族や地域の絆の中で育まれ、恩師や先輩、仲間たちとの出会いを通じて成長します。そこの部分の人と人とのつながりを、今一度少し掘り下げ、温かく血の通ったものにすることができれば、大人にとっても子どもにとっても、もう少し生きやすい世の中になるのではないかと思います。

いじめや親と子との問題、家庭の崩壊などが大きな社会問題となっており、痛ましい事件が絶えません。手をこまねいてはいられない状況です。行政が家族や心の問題の中にまで触れることはなかなか難しいのですが、避けては通れない問題であり、精神的側面からの「しあわせ実感」も市政の主眼にしていかなければならないと考えています。

これは福祉行政であったり、地域づくりの行政であったり、教育行政であったり、いろいろな分野に関連してくるわけですが、そこを家庭の絆・地域の絆というキーワードのもとに、全体を結びつけて考えていきたいと思っています。

幸い、秋田市においてはまだ大きないじめの問題などは起きていません。しかし、この先も秋田市が大丈夫だとは言えず、あらゆる角度からアプローチしていきたいと思います。人間の絆を拠り所に問題を考えていくことは、今までの市政ではなかった捉え方ではなかろうかと思います。

西部市民サービスセンター ☆今年いよいよ着工

さて、これまでも折りにふれ話してまいりました市民協働と都市内地域分権。その実現のための拠点施設となる「(仮称)西部地域市民サービスセンター」は、今年、いよいよ着工の予定です。

必要な機能などについては、地元西部地域でワークショップや地区説明会などを何回も開催し、話し合いを重ねてまいりました。その結果、昨年は建設基本計画がまとまり、現在は、平成二十一年春のオープンをめざし実施設計を進めているところです。

基本機能となる新屋支所、西部公民館、コミュニティセンターの機能に加え、新たに地域防災や子育て支援、地域活動支援のための機能を兼ね備えます。

また、建物に関しては、地球環境に配慮し一部に風力エネルギーを利用するなどのエコの観点、さらには、建設費、維持管理費の双方を見据えたトータルコストの削減について、特に留意してまいりました。

西部市民サービスセンターは、今後市内七地域に整備する市民サービスセンターの第一号であり、今後のモデルでもあります。新屋・勝平・浜田・豊岩・下浜地区を擁する西部という地域特性を十分に生かしつつ、何よりも使い勝手がよく、末永く市民のみなさまに愛されるセンターをめざします。

46年ぶりに戻ってくる秋田わか杉国体

終戦の翌年、昭和二十一年に、国民の希望と勇気に明かりを灯そうと始まった「国民体育大会」。その第六十二回大会がいよいよ今年、秋田県で開催されます。

昨年の「兵庫のじぎく国体」開会式。
秋田でも感動の開会式となることでしょう！　(秋田魁新報社提供)

昨年の秋に雄和で行われた
陸上競技のリハーサル大会

秋田で開催されるのは昭和三十六年の第十六回大会以来、実に四十六年ぶりです。当時、私は中学生で、八橋陸上競技場で見た開会式の感動は、今でも忘れられません。ボストンマラソン優勝の山田敬蔵選手(大館市出身)が炬火を手に競技場に現れ、スタンドの大観衆が見守る中、秋晴れの空の炬火台に点灯。本紙六ページでご覧いただけるような喜びに満ちた開会式となりました。

秋田県選手団は、各種目にわたって大活躍し、天皇杯(男女総合)が東京に次いで第二位、皇后杯(女子総合)が東京、愛知、大阪の大都市に次いで第四位という大健闘でした。秋田市出身の遠藤幸雄選手、小野清子選手らを擁した体操一般男女、ラグビーの秋田工業高校などが優勝しています。

当時の資料を見ると、秋田市へ宿泊した選手、役員は約六千人ほどでしたが、市内の旅館の収容能力は二千三百人分しかなく、足りない分は一般家庭への民泊や寮、お寺などにお願いしました。民泊には市内で五百十九軒の家庭が協力し、約千七百人の選手、役員を受け入れたそうです。そこでの温かいもてなしが大評判となり、これが「秋田まごころ国体」と賞され、半世紀たった今も語り継がれています。

全国から1万2千人！この機会をチャンスに

あれから四十六年。この秋に全国各地から秋田県に訪れる選手、役員、報道関係者らは総勢約五万人にのぼります。そのうち約一万二千人が秋田市に集まります。

平成十三年八月に開催された「第六回ワールドゲームズ秋田大会」でさえ、世界から秋田県に訪れた選手、役員は約三千二百人ほどでした。今回は秋田市分だけで一万二千人ですから、その規模の大きさがわかると思います。

とにかく日本全国からこの秋田市に一万二千人もの人たちが集まる機会は、一生の間にそうあるものではありません。秋田を初めて訪れるというかたも何万、何千人ということでしょう。

一日約六千人が市内に宿泊しますから、大会期間の前後も含め約二週間の延べ人数にすると八万人にもなります。経済効果もかなりのものがあるでしょう。

国体はスポーツの祭典ですから、それに向けて厳しい練習に取り組んでいる選手たちには、秋田の誇りを胸に、精いっぱい頑張ってほしい。と同時に国体は、全国各地の人々の交流とふれあいの祭典でもあります。この機会を逃す手はありません。秋田の観光や物産、さまざまな資源を全国に発信できるまたとないチャンスです。

今回の広報でご紹介しているように、ボランティアのかたがたをはじめ、多くの市民、県民、企業、各種団体のかたがたの協力のネットワークも広がっています。秋田の「まごころ」が再び全国の人たちの心に通じるよう、どうか温かいご協力をお願いします。

秋田わか杉国体
君のハートよ位置につけ　第62回国民体育大会
平成19年９月29日(土)～10月９日(火)

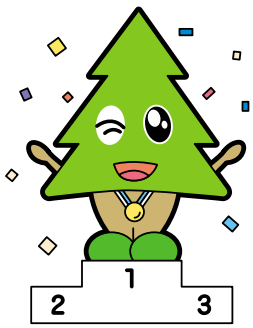
秋田わか杉大会
きっと出会える！夢と感動　2007 第7回全国障害者スポーツ大会
平成19年10月13日(土)～15日(月)

アスリートたちの感動の記憶そしてエール

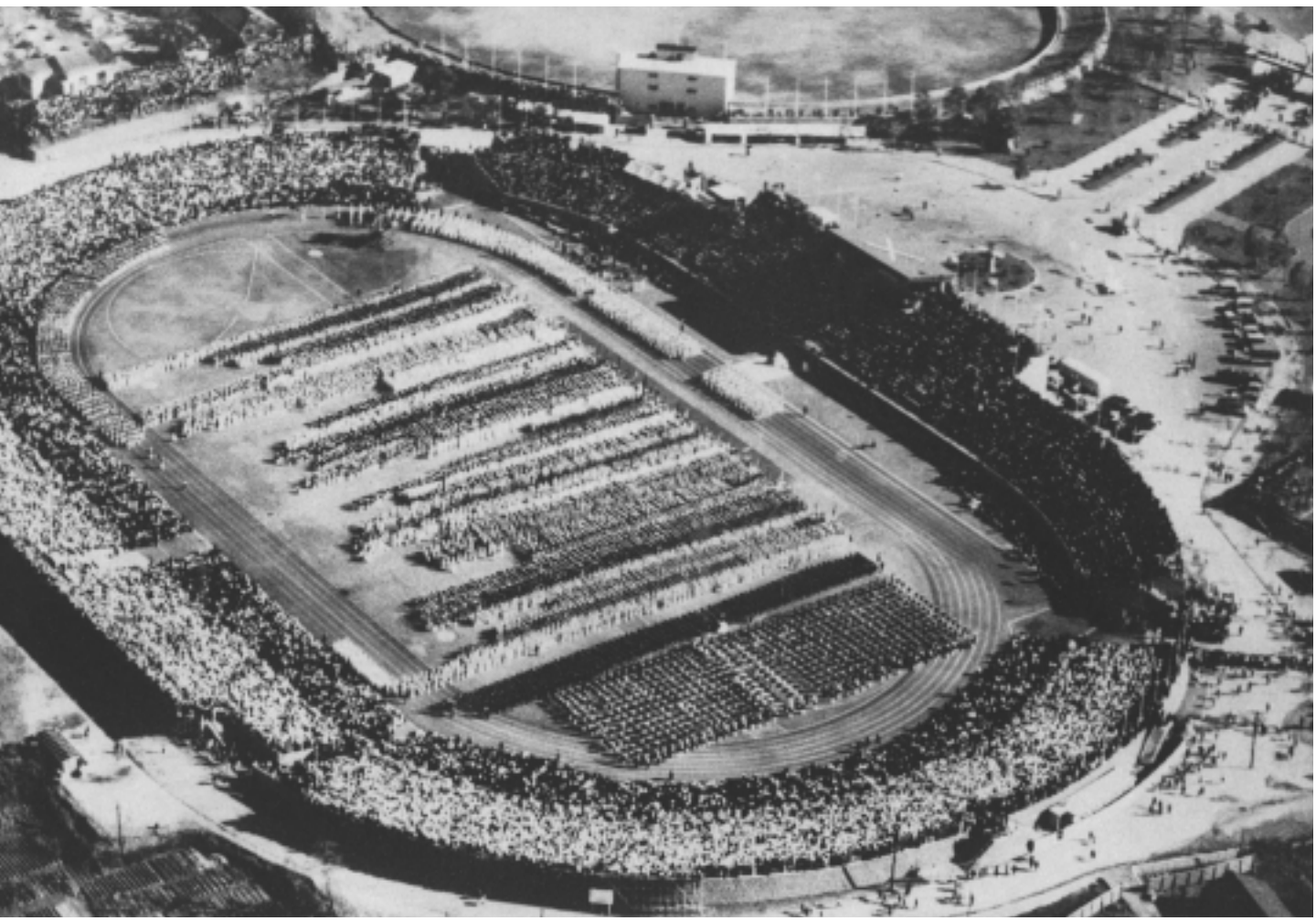
昭和三十六年の秋田まごころ国体。秋田県選手団は天皇杯二位、皇后杯四位というすばらしい成績を残しました。

そして今年、秋田わか杉国体――。

九月の大会に向け、まごころ国体で活躍した選手のかたがたが、応援メッセージを送ってくれました。



秋田まごころ国体開会式。
会場の八橋陸上競技場は、３万人の観衆で埋め尽くされました



地元での熱い試合に期待！

高校野球（硬式）　保坂栄さん（寺内）

崇徳高校との再試合。８回表、同点に追いつく走塁を見せた保坂さん(左)

まごころ国体には、秋田商業高校チームのキャッチャーとして出場しました。入部した時から、二年後の国体選手として期待され、育てられました。練習も一層厳しく、毎日真っ暗になるまでグラウンドを走りまわり、練習の後は食事どころか水を飲んでも吐くほどでした。

今でも思い出すのが二回戦の広島・崇徳高校戦。試合会場の八橋球場は鈴なりの超満員でした。両投手の好投で延長十八回を終わって〇対〇。決着は翌日に持ち込まれました。四対一で勝った再試合も延長十回という、まさに死闘となりました。

勝たなければいけないというプレッシャーの中、バッテリーを組んだ今川投手を信じて戦い続け、結果はベスト４。内心ほっとしました。

地元での国体は数十年に一回。全国の強豪チームと戦えるチャンスだと思い、彼らに負けないチームづくりをしてほしいですね。それが、秋田の野球のレベルアップにもつながると思います。出場する選手のみなさん、熱い試合を期待しています！

日ごろの練習を大切に

ソフトボール成年女子　野中歌子さん(飯島)

野中さんは、「秋田のまごころ再び」という思いを胸に、大会運営ボランティアとして秋田わか杉国体に参加します。

晴天に恵まれた開会式の感動が覚めやらぬまま、試合会場である本荘へ。私たちも民泊したのですが、宿泊先のみなさんが白いかっぽう着を着てグラウンドまで応援にきてくれたことを今でも覚えています。

いざ、試合開始。私にとって三度目の国体。ピッチャーだった私は地元開催ということもあったせいか極度に緊張してしまい、結果は初戦で群馬県チームに敗退。一対〇でした。それでも、開会式で味わった感動、あたたかい応援、そして悔しかったけれどがんばったことなど、まごころ国体は、その後の私の人生の大きな力となりました。

今年出場する選手のみなさん。「地元で勝たなければ」というプレッシャーは少なからずあると思います。でも、そのプレッシャーを押しのけ実力をいかんなく発揮してください。実力を支えるのは日ごろの練習。苦しい時も自分を信じ、一生懸命練習を続ければ、きっとよい結果につながります。

大観衆の競技場で入場行進を待つ時の興奮と感動は、選手でなければ味わえないもの。選手のみなさん、秋田県の代表として、どうぞがんばってください。

みんなの力を結集！

国体ボランティアのかたがたも
今から気合い十分！　大会の成功
を支える大きな力です。

スギッチといっしょにがんばるぞ！

地元への恩返しです

帝国石油秋田鉱業所のみなさん(八橋)

昭和36年の国体、最近は平成16年の新潟県中越地震でボランティア活動をした帝国石油のみなさん。会社ぐるみで運営協力員に申し込みました。

所長の大西清文さんは「地域貢献はもちろん、みんなボランティア活動から何かを得てきてほしい」と社員たちの成長にも期待しています。

いろんな人に会いたいナ♪

小林千紗さん(右)(聖霊高校1年)
加藤愛華さん(聖霊高校1年)

運営協力員として、秋田駅の案内係をやりたいです。駅は秋田の玄関口。県外のかたが最初に出会う秋田市民は私たちになるので、秋田に良い印象を持ってもらえるような笑顔でがんばります！

選手やボランティアのかたなど、学校とは違う人たちとの出会いも楽しみです。

表彰状にも〝真心〟こめて

平元ケオさん(新屋)

現在八十二歳ですが、何か貢献できないかと思い、表彰状の筆耕のボランティアに思い切って応募しました。美しい字を書くためには、心も体も元気でないといけません。国体本番まで、健康づくりにも励みますよ！

チームワークに自信あり！

雄和協力員会のみなさん

大会本番に向け、気合い十分の雄和協力員会のみなさん。会長の鈴木善孝さん(写真右)は、「雄和をあげて応援します。地域のまとまりは、昭和59年の全国高校総体(雄和地域で民泊実施)で実証済み。あの時のチームワークで国体を盛り上げますよ。訪れたかたがたに秋田の良さ、雄和の良さをしっかり伝えたいですね」と、力強く話してくれました。

一人一役！　国体の盛り上げは、おまかせあれ！

おもてなしの準備は万端！

わか杉国体には、選手団など約12,000人が全国から秋田市に訪れます。選手の宿泊ひとつをとっても、数多くの施設とたくさんの人々が関わることになります。選手のおもてなしをするみなさんの意気込みは…

輸送

中央交通秋田営業所の佐藤晃運転士(右)、石井由彦運転士(中)、進藤俊之さん

まずは安全第一！

秋田中央交通(株)

安全に選手たちを送迎することが一番！選手たちが気持ちよく試合できるよう、元気なあいさつと笑顔をモットーに、ハンドルを握ります！

宿泊

「岩見のお湯は疲れがとれる、いいお湯ですよ」

アットホームな雰囲気で

河辺岩見温泉

家族的なぬくもりを大事にお客様に接しています。豊かな自然と湯冷めしない自慢の温泉で、選手たちがリラックスしてくれたらいいですね。

食事

せきやの(左上から時計回りに)保坂淳子さん、関谷幹子さん、高橋静子さん、佐々木智美さん、佐藤清敏さん

秋田の味を伝えたい

仕出しのせきや

県外から訪れるたくさんの人に「秋田で食べたお弁当おいしかった～」と言ってもらえるよう、家庭的でボリューム満点のお弁当を提供します！

胸に輝く なまはげ

秋田県選手団のユニフォームは、胸に輝く金色の「なまはげ」がトレードマーク。鋭いまなざしで対戦相手を圧倒！？

まごころ国体 民泊家庭の料理を再現

県外選手絶賛！

かれいのバター焼 野菜のホワイトソースかけ

1人前

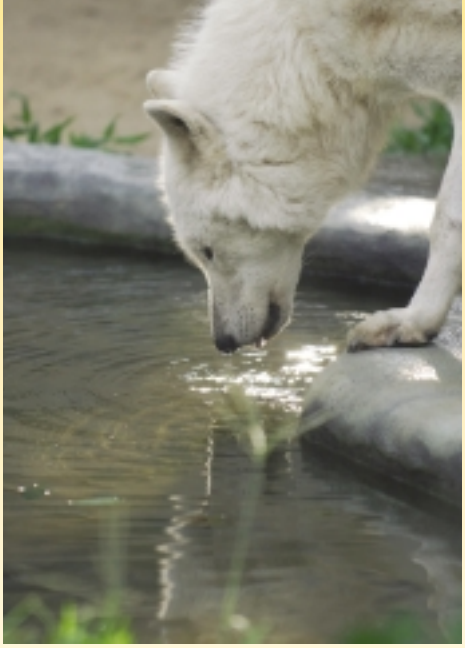
①かれい70グラムはかたくり粉3グラムをまぶし、フライパンにバターをしいて蒸し焼きにする。
②ばれいしょ50グラム、にんじん10グラムは塩ゆでにし、乱切りとする。
③なべにバターをとかし、小麦粉10グラムを色付かぬようにいため、牛乳30グラムを加えてのばし塩こしょうで味をとゝのえる。
④皿に①と②を盛り③をかけてきざみパセリを振りかける。

（まごころ国体の標準献立表から）

大森山動物園フォトコンテスト

大森山動物園フォトコンテストの入賞作品が決定。全国から寄せられた53点の中から7点が選ばれました。動物たちの「一瞬の輝き」をうまくとらえた作品です。

最優秀賞「ouch！」小林伸士さん(由利本荘市)



園長賞「波紋」田口新さん(東京都)

ほのぼの賞「子」
小野寺香織さん(東京都)

優秀賞「お散歩」
千葉基子さん(神奈川県)

優秀賞「こっちにおいで～」
島田紗楽さん(保戸野)

ほのぼの賞「うっとり」
畠山幸義さん(川尻)

ほのぼの賞「一緒にあそぼ」
安田奈緒美さん(潟上市)

大森山動物園ミルヴェ 1月・2月の土・日・祝日 冬期開園！

開園日(土・日・祝日)
1月…6～8日　13～14日　20～21日　27～28日
2月…3～4日　10～12日　17～18日　24～25日

開園時間 午前11時～午後2時(券売は13：30まで)

入園料 中学生以下は無料　大人300円
※年間パスポート(1,200円)も使えます

大森山動物園tel(828)5508

謹賀新年

今年もよろしくお願いいたします

市長	佐竹敬久	
助役	飯塚幹弥	
助役	大山敏雄	
収入役	佐々木修	
議会議長	赤坂光一	
市議会副議長	渡辺良雄	
議員	石川ひとみ	
〃	堀井明美	
〃	石塚秀博	
〃	土田整	
〃	鳥井修	
〃	小野寺誠	
〃	齊藤善悦	
〃	熊谷重隆	
〃	工藤四郎	
〃	渡辺正宏	
〃	加賀屋千鶴子	
〃	明石叡	
〃	猪股竹作	
〃	成沢淳子	
〃	小林一夫	
〃	塚田清勇	
〃	花田美	
〃	菅原弘夫	
〃	小田島健	
〃	鎌田修悦	
〃	小原譲	
〃	小木田喜美雄	
〃	佐々木勇進	
〃	米山七郎	
〃	鈴木忠夫	
〃	佐原孝夫	
〃	相場金二	
〃	安井貞三	
〃	三浦芳博	
〃	加賀谷正美	
〃	佐々木晃二	
〃	柏谷幸彦	
〃	荻原守	
〃	前田喜蔵	
〃	宇佐美洋一朗	
〃	新岡雅	
〃	近江喜博	
〃	芦田晃敏	
〃	保坂直一	
〃	相原政志	
〃	菊地達雄	
〃	長谷川昭一	
〃	高橋智徳	
〃	榎清	

（議席順）

広報あきた 編集発行■秋田市役所広報課　〒010-8560 秋田市山王一丁目１－１　tel018(866)2034　秋田市ホームページ ■ http://www.city.akita.akita.jp/
■広報あきたがご自宅に届かないときは、広報課にご連絡ください ■この冊子は、単価１部９.45円です